

校区サミット通信

速報第1号

厚労省も地域福祉への第一歩

校区サミットへようこそ!!

全国校区地域福祉活動サミット in 豊中へ参集していただきました全国各地の皆さん、ようこそ豊中へ。校区福祉活動が地域福祉の基礎だと確信している、私たちのささやかな思いと同じ思いをもつ人たちとつながりたいという願いに添えてくださったことに感謝しております。実は、豊中は全国高校野球の発祥の地でもあります。この豊中で栄えある第1回目の全国校区地域福祉活動サミットを開催できることを喜んでいきます。



今、地域社会は悲鳴をあげています。犯罪やら引きこもり、ホームレスや介護問題などなど自治会や町内会など問題解決が難しくなって、校区の福祉活動の存続さえ危ぶまれているところも多くなってきました。でも地域社会のもつ底力を信じて、校区福祉活動を焦らず、慌てず、諦めないで続けている人たちはいるはずだと思いつけてきました。

本日の集いは、こうした同じ願いをもつ人たちの出会いでもあり、交流の場になればと思っています。皆さんが、それぞれ元気と勇気をもらえる学びと連帯と、そして明日へつながる希望をぶらさげて各地に帰ることのできる日になることを願っています。

「全国校区福祉活動サミット in 豊中」実行委員会
実行委員長 牧里 每治

2007年10月3日(水)、厚生労働省にて、「第1回これからの地域福祉のあり方に関する研究会」が開催されました。

この研究会は、今回のサミットの講師でもある、厚生労働省社会・援護局の中村秀一局長が主催したものです。高齢・障害・児童の各分野において、フォーマルサービス(公的サービス)の整備が進む一方で、その限界が見えてきています。改めてインフォーマルサービス(地域で支え合う仕組み)を見直し、地域福祉を推進するためのあり方を模索し、地域社会で支援を求めている人に住民が気づき、住民相互で支援活動を行うなど、地域住民のつながりを再構築し、支え合う体制を実現するための方策の検討が、研究会の目的です。

研究会のメンバーは、社協関係1人、町内会関係1人、民生委員児童委員関係1人、市町村行政関係1人、研究者関係8人の計12人。

第1回目の今回は、趣旨説明と5つの論点(①地域の生活課題・対象、②地域を支える施策の在り方、③地域福祉推進の問題点、④既存制度・施策の修正点、⑤住民力発揮のポイント)に関し、研究会メンバーが自己紹介を兼ねて考えを述べるものでした。

本格的な議論は、第2回目からとなります。次回委員会は、2007年10月19日(金)に、東京のKKRホテルで開催されます(傍聴は、厚生労働省新着情報配信サービスにて公募されます)。

校区サミットを10倍楽しむ方法

本日のみどころ

限られた時間でのサミットですからシンポジウムなどのプログラムはもちろん、その他の催しも時間をめいっぱい使って楽しんでください。

- 見所1 やっぱり分科会!全国の先進事例がいっぱいです
- 見所2 厚生労働省の中村局長の講演。これからの地域福祉を国はどう考えているのかその後の豊中からの発信もお楽しみに・・・
- 見所3 全国校区見本市。校区活動の出版した本や、サロン活動の作品など。交流したいと思って参加された皆さん。コーナーでおしゃべりしましょう。

- 見所4 番外企画 豊中コーナーを開設しています。大集会室1階までお越しください。校区活動以外の豊中の福祉活動の紹介コーナーです。大阪府コーナーもありますよ!
民生委員、企業団体ボランティアネットワーク、老人介護者家族の会、ひとり暮らし老人の会、ボランティアセンター(災害ネットワーク、ちょぼらサロンなど)介護保険事業者連絡会、豊中市役所 などなど
- 見所5 障害者作業所コーナー。豊中では、市内の23ヶ所の障害者通所授産施設が共同で、豊中駅前に「なかまの店」を開設しています。本日は出張店として、喫茶や手作り品などをご用意しています。ほっと一息お越しやす

- 見所6 福祉の日のポスター。豊中では、毎月15日を豊中の福祉の日としてPR活動を行なっています。この夏子どもたちから募集したポスターの、優秀作品の展示コーナーがあります。
- 見所7 オープニングにサプライズ。大阪名物ちんどんやさん
- 見所8 豊中のイメージキャラクターボランちゃんのお出迎え
- 見所9 校区サミット旗にあなたの地域に対する思いを旗にかきましょう。次回開催に思いをつなげます。
- 見所10 共同宣言。・・・心に響く宣言に・・・

*本日の催しをケーブルテレビが取材に来ます。取材にもご協力ください。

校区サミットに全国から 1,400 人が参加！

今回のサミットには、北は北海道から南は鹿児島まで、全国から多くの方にお集まりいただきました。スタッフや講師など、全部合わせるとおよそ 1,400 人。小地域における住民パワーが全国的にも注目を集めていることが実感されます。

ではさっそく、このサミットに、どこから、どんな人が参加しているのかを見ていきましょう。

北は北海道から南は鹿児島まで

今回、豊中市で開催するということもあり、大阪府内の参加者が 926 人と飛び抜けて多くなっています。その中でも豊中市内の参加は 701 人。豊中市民の熱気を、会場の皆さんも感じられているのではないのでしょうか。

都道府県	人数
北海道	2
青森県	0
岩手県	0
宮城県	1
秋田県	0
山形県	0
福島県	2
茨城県	2
栃木県	3
群馬県	0
埼玉県	4
千葉県	0
東京都	9
神奈川県	7
新潟県	0
富山県	3

都道府県	人数
石川県	3
福井県	0
山梨県	1
長野県	1
岐阜県	5
静岡県	14
愛知県	17
三重県	20
滋賀県	19
京都府	47
大阪府	926
兵庫県	65
奈良県	7
和歌山県	5
鳥取県	4
島根県	46

都道府県	人数
岡山県	8
広島県	8
山口県	3
徳島県	6
香川県	16
愛媛県	9
高知県	25
福岡県	10
佐賀県	2
長崎県	4
熊本県	5
大分県	6
宮崎県	2
鹿児島県	1
沖縄県	0
総合計	1318

10月4日現在

大阪以外の都道府県で見ると、やはり近畿圏が多いのですが、島根県や高知県からも多数の方に参加いただいています。この2県からは大型バスを仕立てて参加いただいています。ほかにも3つの団体が、バスを使っての参加となっています。

遠路ありがとうございます！！

社協関係者が大注目!?

参加受付をしていると、社協関係者からの申し込みが非常に多いことに気づきました。今回は、校区福祉委員会なども含めると、実に 600 人以上の方が社協関係の参加者です。ほかにも、民生委員・児童委員の皆さんや、自治体職員の参加も多く、小地域活動のこれからの、本当に多くの方が注目されているのが伝わってきます。

全国からお集まりいただいたせっかくの機会です。ぜひ、お隣の人どうし声をかけあって、一人でも多くの仲間を見つけ、一人でも多くのネットワークをつくりあげていただければ幸いです。

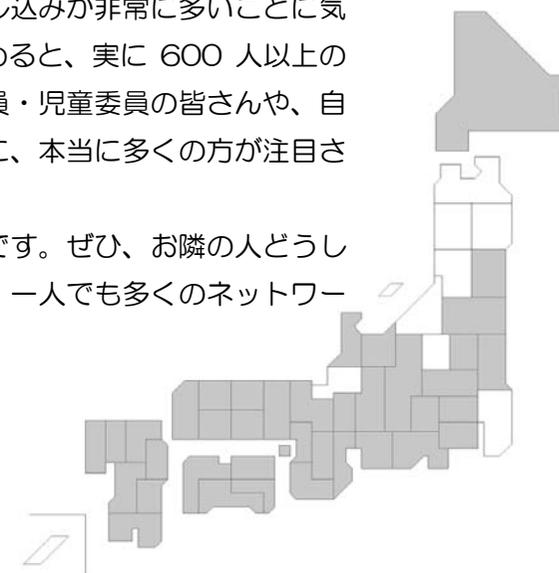
参加者からの声・こえ・こえ

地域福祉論を越えて、推進のエネルギーと方法、パッションを学びたくて参加させていただきます。

大阪府立大学 元教授 右田紀久恵
(大阪市社会福祉協議会)

今回の『校区サミット』は、市区町村段階の社協・民協が主催する全国規模の研究集会が初めて持たれたということと、そこで NPO との協働が実現したということで、歴史的な意義を持つものです。住民自治を発展させる方向で『校区サミット』が役割を果たしていくことを期待しています。

関西福祉科学大学 佐藤貞良
(大阪府社会福祉協議会 元事務局長)



サミット開催おめでとうございます。校区福祉活動というミクロな活動を全国というマクロなレベルで統合することこそ、今日問われているソーシャル・ガバナンスの確立に寄与するものと信じています。このサミットを機に、地域で活躍している皆さん一人ひとりの力を集結し、校区福祉活動のエネルギーを日本全国に広げましょう。

同志社大学 上野谷加代子

コメントをお寄せいただきました皆さま、
ありがとうございました！

編集・発行：「全国校区地域福祉活動サミット in 豊中」実行委員会
発行日：2007年10月6日(土)
事務局：全国コミュニティライフサポートセンター (CLC 大阪) 内
大阪市城東区鳴野西 5-18-13 「添」内
TEL：06-6965-2022 FAX：020-4622-2459